

施政方針

平成30年度

3月議会定例会の開会初日である3月6日。冒頭のあいさつに立った相川町長は、平成30年度に向けた所信を表明しました。

数々の災害

昨年、熊本県や大分県を襲った震度7の大地震はまたしても未曾有の被害をもたらしました。尊い命が失われ、家屋をはじめとした、さまざまな建物に多大な被害が発生したことは記憶に新しいところです。

さらには今年に入り、草津にある白根山が噴火し、多くの被害が発生いたしております。被災されました皆さまには心からお見舞いを申し上げます、一刻も早い復旧を願っております。

また、昨年の秋以降、自然環境が急激に変化をしてきております。日照不足・長雨・低温が

続き路地野菜をはじめとした野菜の成長・生産・食料事情も大きな変化が余儀なくされております。

さらには、暖冬といわれたこの冬、日本海側を襲った昭和56年豪雪をはるかに超える雪が降り、国民生活に暗い影をもたらしてしまいました。

温故知新という言葉がありますが、私たちも過去に学びつつ、現在を見つめ、将来に向かってしっかりとした足跡を残していかなければと改めて実感いたしました。

未来への決断

私は、昨年の町長選挙におい

て、未来への決断いたしましたし「繁栄の核」「第3滑走路」という思いを町民の皆さま方にお伝えいたしました。

成田空港は芝山町繁栄の基礎となり、10年後には第3滑走路が完成し、現在の2倍の規模になる見込みです。これは巨大な公共事業となり、迷惑だと反対するだけでは、芝山町の繁栄は実現できないと私は考えます。空港を地域繁栄の核として盛り立てていき町民の皆さまが不利益を被ることがないように、移転・騒音・谷間対策など万全の対策を講じていく所存です。そして10年後の芝山町に必要なことを全てやりきってまいります。



芝山町長 相川 勝重

5つの重点施策

私はこれからの取り組みについて次のとおりマニフェストで発表させていただきます。

- ①成田空港にバスのターミナルを整備し、空港経由でどこでも行けるよう空港の利便さを暮らしに生かす。
- ②高谷川沿岸を整備し、谷間地区を縦貫する幹線道路を建設し、空港から芝山町を経由し海へ行けるようにする。
- ③芝山千代田駅周辺の宅地開発や空港勤務者向けの駐車場を整備し、移転者や空港従業員が定住する町づくりをする。
- ④農業振興への補助金の充実など産業を活性化し地域を守る。
- ⑤教育の中で重要な役割を果たす食育の充実を図るため、学校給食の完全無料化の実施、幼児教育を取り入れた保育サービスなど就学前の保育と教育についてより一層の力を入れる。

これらの施策を皆さまのお力添えをいただきながら前進させていきたいと存じます。

成田空港の機能強化について

芝山町にとって大きな取り組みとなる成田空港の更なる機能強化。平成28年9月の四者協議

会において具体的な案が示され、芝山町を含む空港周辺市町では、国・県・成田国際空港(株)と共に騒音地域を中心に住民説明会を開催し、意見交換を積み重ねてまいりました。その中には、「夜間飛行制限の緩和」「集落分断の解消」「落下物対策」「空港周辺の均衡ある発展」など、町民の皆さまが切実な危機感を有していることを改めて実感いたしました。

そして、これらを踏まえ、千葉県知事および国土交通省に対し要望書を提出し、地域の皆さまの思いを伝えさせていただきました。要望事項、回答内容については次のとおりです。

- ①夜間飛行制限緩和案の改善については、2020年までに夜間飛行制限緩和を実施するに当たり、A滑走路側の騒音防止地区における、内窓などの追加工事を先行的かつ集中的に実施する。
- ②具体的な地域振興策の推進として空港を交流拠点とした産業振興を図り、空港と地域の発展が好循環する地域づくりを進める。そのための基本プランの作成が進められているのでこの実現に向け最大の協力をする。
- ③騒音法の防止特別地

区については設定基準に基づき関係市町の意見を最大限尊重した上で、集落の一体性に十分配慮して設定案を作成した。また、ほとんどが移転対象となる地区に残される住民への対応については引き続き関係者間で連携して検討を行う。

私は、空港づくりは地域づくりそして今こそ共生・共栄の理念を実践するときだと再認識いたしました。

より住みやすい芝山町へ

重点施策でも申し上げましたが、食育は教育の重要な役割を担っています。食育は生きる上での基本であり、知育・体育・道徳の基礎となるものです。町といたしましても、学校・保護者と連携し、積極的に取り組んでまいります。

具体的には、芝山小・中学校に在校し、町内に住所を有する児童・生徒の給食費の無償化を実施します。これにより、学校給食に係る経費の保護者負担分を軽減し、教育の充実化を図り、少子高齢化対策、そして子育てを支援いたします。

また、ご家庭の負担を少しでも軽減できればと、ごみ袋につ

いて20枚入りを3セットまで、無料で配布させていただきます。その他にも新たな事業といたしまして、「愛・らぶ芝山結婚祝金交付事業」を実施します。この事業は結婚して芝山町に定住するご夫婦に対して祝い金を交付する事業です。これにより結婚を祝福し、町内への若い世代の定住を促進し活気ある町づくりを推進します。

また、保育所のあり方や、子育て世帯へのより一層の充実など、町民の皆さまにとってより住みやすい町を目指して参ります。

輝かしい未来へ向けて

これからの時代、経済や開発はもちろん大事ですが、子育て、農業、スポーツなどさまざまな分野で活躍できる、そんな芝山町を目指します。私は、多様な意見がでることこそ素晴らしい町につながってくれるものと確信いたします。そのためにも皆さま方の知恵や力をお借りしながら、これまでであったものを増強や変化させ、これまでなかったものを作りだしていき、全ての方が生き生きと暮らせる社会を目指して町づくりに取り組んでまいります。